

令和4年度 第2四半期

経過の長期給付組合積立金 管理及び運用実績の状況



公立学校共済組合

目次

令和4年度 第2四半期運用実績の概要	2
令和4年度 市場環境（第2四半期）	3
令和4年度 資産の構成割合	5
（参考）令和3年度 資産の構成割合	6
令和4年度 運用利回り	7
（参考）令和3年度 運用利回り	8
令和4年度 運用収入の額	9
（参考）令和3年度 運用収入の額	10
令和4年度 資産額	11
（参考）令和3年度 資産額	12
用語解説	13

経過の長期給付組合積立金の運用について

経過の長期給付組合積立金の運用は、新規の掛金収入が発生しないという閉鎖型年金の特性を踏まえ、下振れリスクに特に留意しつつ、将来にわたる負債と積立金との関係を常に意識しながら、経過の長期給付事業の運営の安定に資することを目的としています。

令和4年度 第2四半期運用実績の概要

- 第2四半期末の積立金残高は 2兆124億円となりました。
- 第2四半期の修正総合収益率は $\Delta 0.80\%$ 、実現収益率は 1.37% となりました。
- 第2四半期の総合収益額は $\Delta 163$ 億円、実現収益額は 244億円となりました。

(単位：億円)

	令和4年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
時価残高	20,580	20,124	—	—	
(簿価残高)	17,918	17,824	—	—	
修正総合収益率	-2.67%	-0.80%	—	—	-3.45%
(実現収益率)	1.59%	1.37%	—	—	2.95%
総合収益額	-576	-163	—	—	-739
(実現収益額)	287	244	—	—	531

(注1) 収益率及び収益額は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。

(注2) 各四半期及び年度計の収益率は、期間率です。

(注3) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

※ 情報公開を徹底する観点から、四半期ごとに運用状況の公表を行うものです。

年金積立金は長期的な運用を行うものであり、その運用状況も長期的に判断することが必要です。

総合収益額は、各期末時点の時価に基づく評価であるため、評価損益を含んでおり、市場の動向によって変動するものであることに留意が必要です。

令和4年度 市場環境（第2四半期）

【各市場の動き（7月～9月）】

- 国内債券：** 10年国債利回りは、物価上昇を受けた各国中銀の積極的な金融引き締め策実施により世界的に金利が上昇する一方、日銀は金融緩和政策を継続し、9月の金融政策決定会合においても政策維持が決定されたことなどを受けて、ほぼ横ばいで推移しました。
- 国内株式：** 国内株式は、底堅い企業業績や世界的に長期金利が低下したことなどを受け8月半ばにかけて上昇しましたが、その後はFRB（米連邦準備制度理事会）による金融引き締め長期化に伴う世界的な景気後退懸念から下落しました。
- 外国債券：** 米国10年国債利回りは、世界的な金利上昇による景気後退が懸念され、大幅利上げ観測が後退した8月半ばにかけて低下（債券価格は上昇）しましたが、その後は物価上昇の継続を受けてFRBが大幅利上げを実施したことから、上昇（債券価格は下落）しました。
ドイツ10年国債利回りは、欧州景気の悪化懸念が強まったことなどから低下基調で推移した後、ECB（欧州中央銀行）による大幅利上げ実施や金融引き締め長期化観測に加え、英国での長期金利の急騰などを受けて上昇しました。
- 外国株式：** 米国株式は、利上げペースの鈍化期待から上昇基調で推移しましたが、8月後半以降FRB議長がインフレ抑制に向けた利上げ継続姿勢を示し、9月に利上げおよび政策金利見通しの引き上げが実施されたことなどが嫌気され下落に転じました。
ドイツ株式は、8月半ばにかけて米国株式につられる形で上昇したものの、その後はECBによる大幅な利上げ実施やロシア産ガス供給削減に伴う景気後退懸念などから下落しました。
- 外国為替：** ドル／円は、FRBによる積極的な金融引き締め策により日米金利差が拡大したことを受けて円安基調で推移しましたが、9月後半に日本政府・日銀による円買い・ドル売り介入が実施されたことから、期末にかけて円安の進行は鈍化しました。
ユーロ／円は、欧州域内のエネルギー供給減による景気後退懸念からユーロ安が進行しましたが、期末にかけてはECBによる利上げが実施されたことから、日欧金利差拡大を背景に円安基調で推移しました。

○参考指標

		令和4年6月末	7月末	8月末	9月末
国内債券	10年国債利回り (%)	0.23	0.19	0.23	0.24
	TOPIX配当なし (ポイント)	1,870.82	1,940.31	1,963.16	1,835.94
国内株式	日経平均株価 (円)	26,393.04	27,801.64	28,091.53	25,937.21
	米国10年国債利回り (%)	3.01	2.65	3.19	3.83
外国債券	ドイツ10年国債利回り (%)	1.34	0.82	1.54	2.11
	NYダウ (ドル)	30,775.43	32,845.13	31,510.43	28,725.51
外国株式	ナスダック (ポイント)	11,028.74	12,390.69	11,816.20	10,575.62
	ドイツDAX (ポイント)	12,783.77	13,484.05	12,834.96	12,114.36
	イギリスFT100 (ポイント)	7,169.28	7,423.43	7,284.15	6,893.81
	ドル/円 (円)	135.86	133.65	138.63	144.75
外国為替	ユーロ/円 (円)	142.03	136.28	139.39	141.80

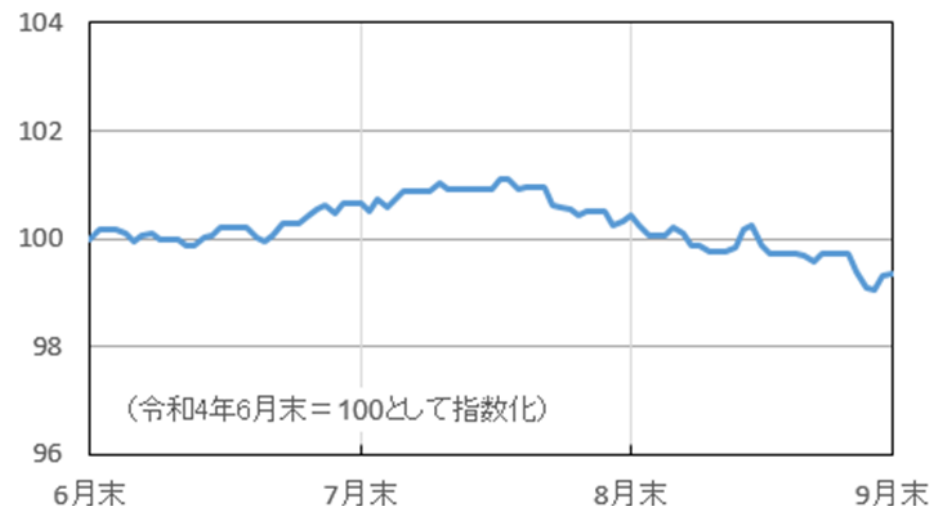
※ドル/円、ユーロ/円はWMロイター（ロンドン16時）

（ベンチマーク収益率）

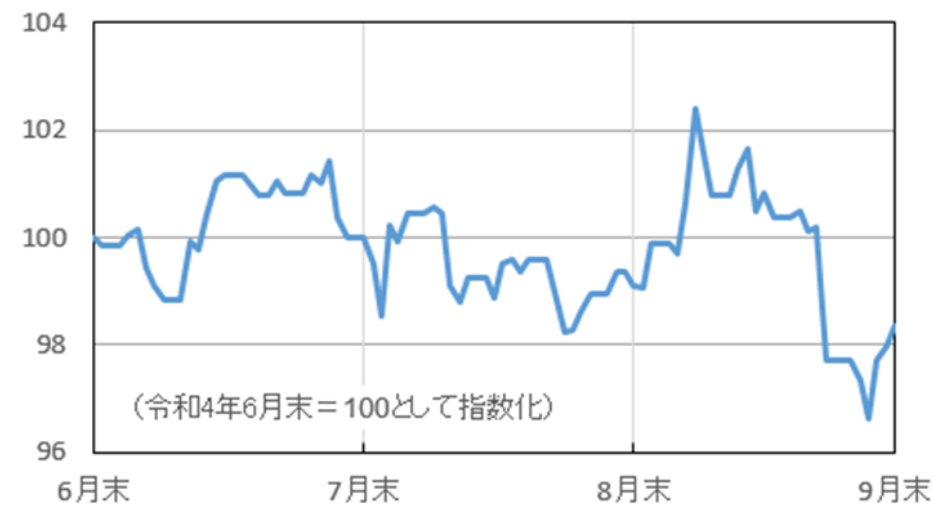
	令和4年7月～9月
国内債券 NOMURA-BPI総合	-0.66%
国内株式 TOPIX（配当込み）	-0.79%
外国債券 FTSE世界国債（除く日本、中国、ヘッジなし・円ベース）	-1.78%
外国株式 MSCI ACWI（除く日本、円ベース、配当込み）	-0.55%

【ベンチマークインデックスの推移（7月～9月）】

【国内債券】



【外国債券】



【国内株式】



【外国株式】



(注)市場ベンチマークインデックスは以下のとおり。

国内債券: NOMURA-BPI 総合、外国債券: FTSE世界国債(除く日本、中国、ヘッジなし・円ベース)

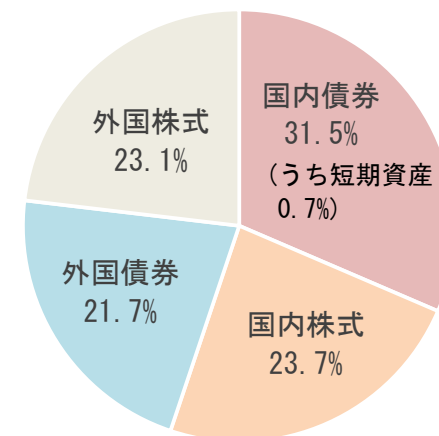
国内株式: TOPIX(配当込み)、外国株式: MSCI ACWI(除く日本、円ベース、配当込み)

令和4年度 資産の構成割合

(単位：%)

		令和4年度			
		第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	年度末
国内債券		31.1	31.5	—	—
	短期資産	(0.9)	(0.7)	—	—
国内株式		23.6	23.7	—	—
外国債券		22.1	21.7	—	—
外国株式		23.2	23.1	—	—
合 計		100.0	100.0	—	—

第2四半期末 運用資産別の構成割合



(注1) 基本ポートフォリオは、国内債券25% (±20%)、国内株式25% (±12%)、外国債券25% (±9%)、外国株式25% (±11%) です。

(注2) 共済独自資産 (不動産)、生命保険及び短期資産は国内債券に含めています。

(注3) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

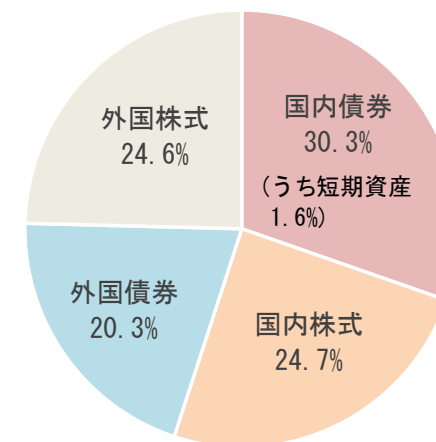
(注4) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(参考) 令和3年度 資産の構成割合

(単位：％)

		令和3年度			
		第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	年度末
国内債券		30.1	30.0	29.1	30.3
	短期資産	(0.8)	(0.7)	(1.1)	(1.6)
国内株式		23.7	24.7	24.4	24.7
外国債券		18.9	18.8	19.9	20.3
外国株式		27.3	26.5	26.6	24.6
合 計		100.0	100.0	100.0	100.0

令和3年度末 運用資産別の構成割合



(注1) 基本ポートフォリオは、国内債券25% (±20%)、国内株式25% (±12%)

外国債券25% (±9%)、外国株式25% (±11%) です。

(注2) 共済独自資産 (不動産)、生命保険及び短期資産は国内債券に含めています。

(注3) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

令和4年度 運用利回り

- 第2四半期の修正総合収益率は $\Delta 0.80\%$ 、実現収益率は 1.37% となりました。
- 資産別の修正総合収益率については、国内債券は $\Delta 0.28\%$ 、国内株式は $\Delta 0.85\%$ 、外国債券は $\Delta 1.73\%$ 、外国株式は $\Delta 0.54\%$ とマイナスの収益率となりました。

(単位：%)

	令和4年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実 現 収 益 率	1.59	1.37	—	—	2.95
修正総合収益率	-2.67	-0.80	—	—	-3.45

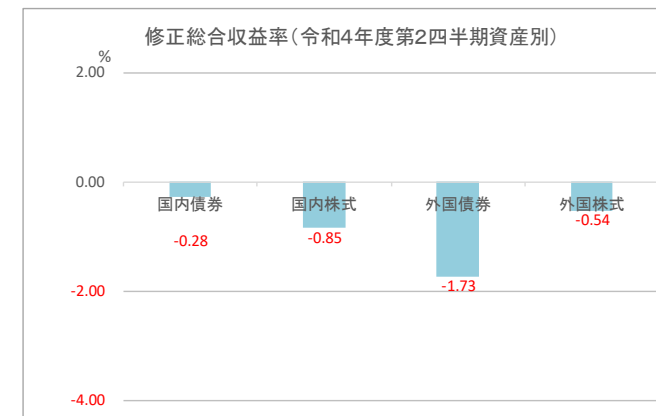
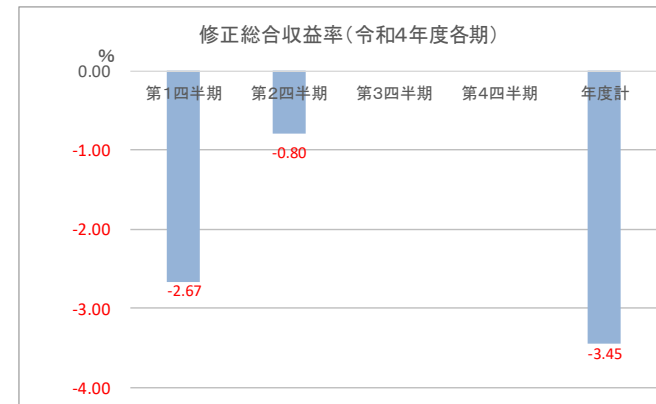
	令和4年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
修正総合収益率	-2.67	-0.80	—	—	-3.45
国内債券	-0.65	-0.28	—	—	-0.94
短期資産	(0.00)	(0.00)	—	—	(0.00)
国内株式	-5.17	-0.85	—	—	-5.97
外国債券	2.63	-1.73	—	—	0.87
外国株式	-7.11	-0.54	—	—	-7.60

(注1) 収益率は、運用手数料控除後のものです。

(注2) 各四半期及び年度計の収益率は期間率です。

(注3) 修正総合収益率は、実現収益率に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。

(注4) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。



(参考) 令和3年度 運用利回り

(単位: %)

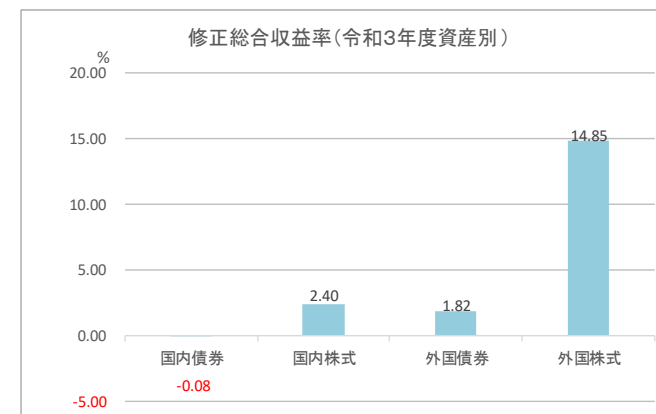
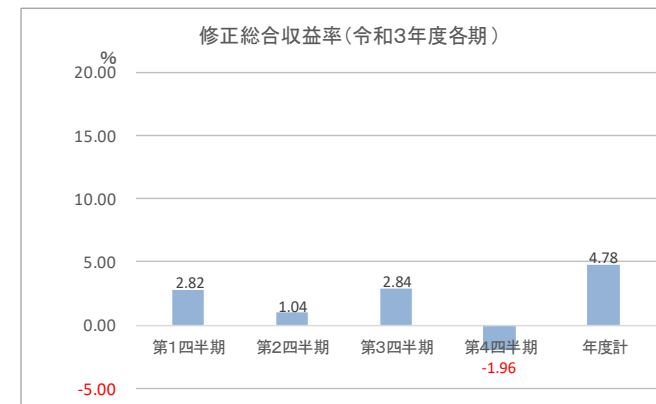
	令和3年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率	1.80	1.70	2.79	2.08	8.36
修正総合収益率	2.82	1.04	2.84	-1.96	4.78

	令和3年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
修正総合収益率	2.82	1.04	2.84	-1.96	4.78
国内債券	0.39	0.26	0.07	-0.82	-0.08
短期資産	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)
国内株式	0.09	5.79	-1.05	-2.23	2.40
外国債券	1.72	-0.90	2.51	-1.40	1.82
外国株式	9.03	-0.87	9.82	-3.40	14.85

(注1) 収益率は、運用手数料控除後のものです。

(注2) 各四半期の収益率は期間率です。

(注3) 修正総合収益率は、実現収益率に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。



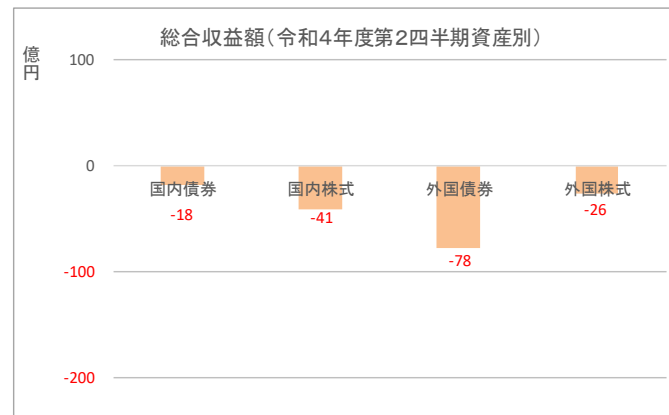
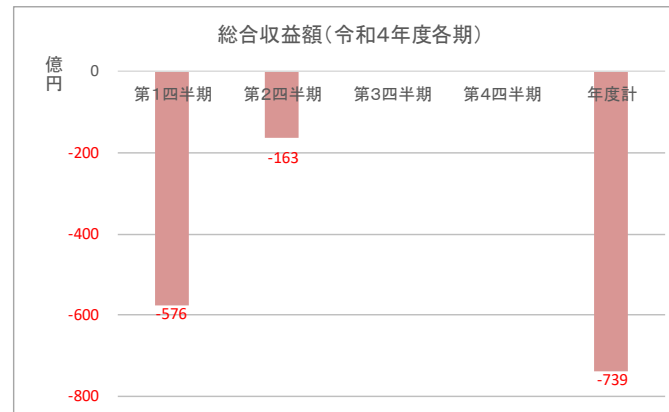
令和4年度 運用収入の額

- 第2四半期の総合収益額は △163億円、実現収益額は 244億円となりました。
- 資産別の総合収益額については、国内債券は △18億円、国内株式は △41億円、外国債券は △78億円、外国株式は △26億円とマイナスの収益額となりました。

(単位：億円)

	令和4年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実 現 収 益 額	287	244	—	—	531
総 合 収 益 額	-576	-163	—	—	-739

	令和4年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
総 合 収 益 額	-576	-163	—	—	-739
国 内 債 券	-43	-18	—	—	-61
短 期 資 産	(0)	(0)	—	—	(0)
国 内 株 式	-271	-41	—	—	-312
外 国 債 券	117	-78	—	—	39
外 国 株 式	-379	-26	—	—	-405



(注1) 収益額は、運用手数料控除後のものです。

(注2) 総合収益額は、実現収益額に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。

(注3) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

(注4) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(参考) 令和3年度 運用収入の額

(単位：億円)

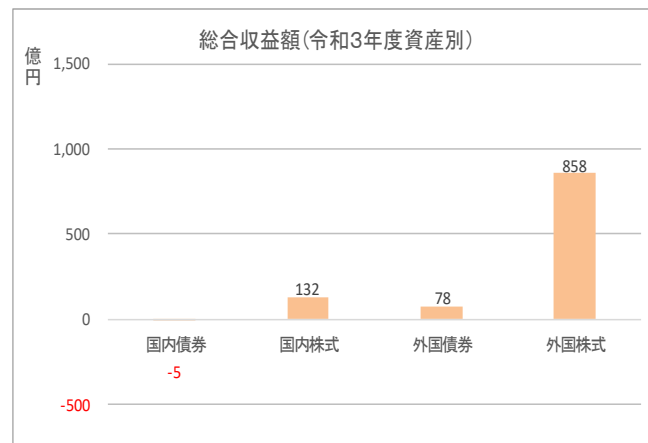
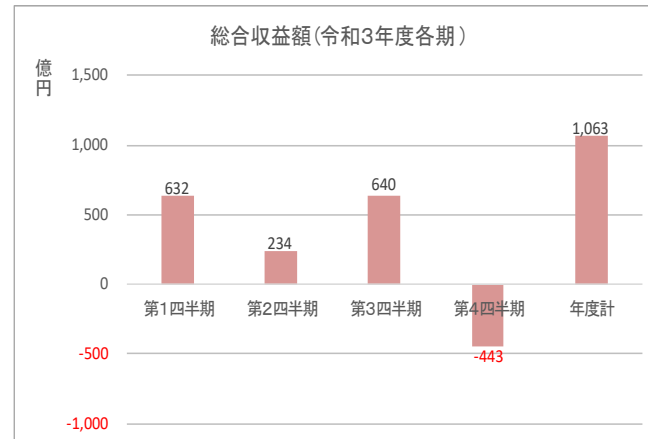
	令和3年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実 現 収 益 額	332	311	509	378	1,530
総 合 収 益 額	632	234	640	-443	1,063

	令和3年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
総 合 収 益 額	632	234	640	-443	1,063
国 内 債 券	27	18	4	-54	-5
短 期 資 産	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
国 内 株 式	5	310	-59	-124	132
外 国 債 券	72	-39	108	-63	78
外 国 株 式	528	-54	587	-202	858

(注1) 収益額は、運用手数料控除後のものです。

(注2) 総合収益額は、実現収益額に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。

(注3) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。



令和4年度 資産額

(単位：億円)

	令和4年度											
	第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価 損益	簿価	時価	評価 損益	簿価	時価	評価 損益	簿価	時価	評価 損益
国内債券	6,428	6,391	-37	6,383	6,331	-52	—	—	—	—	—	—
短期資産	(178)	(178)	(0)	(141)	(141)	(0)	—	—	—	—	—	—
国内株式	4,047	4,860	812	4,050	4,768	719	—	—	—	—	—	—
外国債券	4,350	4,550	200	4,299	4,371	73	—	—	—	—	—	—
外国株式	3,093	4,779	1,686	3,093	4,653	1,560	—	—	—	—	—	—
合計	17,918	20,580	2,661	17,824	20,124	2,299	—	—	—	—	—	—

(注1) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

(注2) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(参考) 令和3年度 資産額

(単位：億円)

	令和3年度											
	第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価 損益	簿価	時価	評価 損益	簿価	時価	評価 損益	簿価	時価	評価 損益
国内債券	6,737	6,798	61	6,718	6,774	56	6,513	6,566	54	6,614	6,601	-13
短期資産	(187)	(187)	(0)	(153)	(153)	(0)	(244)	(244)	(0)	(338)	(338)	(0)
国内株式	4,038	5,366	1,328	4,009	5,575	1,566	4,134	5,514	1,380	4,226	5,391	1,164
外国債券	4,068	4,277	209	4,090	4,238	148	4,278	4,496	218	4,327	4,433	106
外国株式	3,492	6,179	2,688	3,496	5,975	2,479	3,317	6,010	2,693	3,146	5,358	2,212
合 計	18,335	22,619	4,284	18,313	22,563	4,250	18,241	22,587	4,346	18,313	21,782	3,469

(注) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

用語解説（50音順）

- 基本ポートフォリオ
統計的な手法により定めた、最も適格と考えられる資産構成比（時価ベース）です。
- 許容乖離幅
資産構成比が基本ポートフォリオから乖離した場合には、資産の入替え等を行い乖離を解消することとなります。しかし、時価の変動等により小規模な乖離が生じるたびに入替えを行うことは、売買コストの面等から非効率であるため、基本ポートフォリオからの乖離を許容する範囲を定めており、これを許容乖離幅といいます。
- 経過的長期給付組合積立金
組合が経過的長期給付（旧職域部分）のため管理運用する積立金です。
- 修正総合収益率
時価ベースで運用成果を測定する尺度の1つです。実現収益額に資産の時価評価による評価損益増減を加え、時価に基づく収益を把握し、それを元本平均残高に前期末未収収益と前期末評価損益を加えたもので除した時価ベースの比率です。算出が比較的容易なことから、運用の効率性を表す時価ベースの資産価値の変化を把握する指標として用いられます。
（計算式）
$$\text{修正総合収益率} = \left[\text{売買損益} + \text{利息・配当金収入} + \text{未収収益増減（当期末未収収益－前期末未収収益）} \right. \\ \left. + \text{評価損益増減（当期末評価損益－前期末評価損益）} \right] \div \left(\text{元本平均残高} + \text{前期末未収収益} + \text{前期末評価損益} \right)$$
- 総合収益額
実現収益額に資産の時価評価による評価損益増減を加えることにより、時価に基づく収益把握を行ったものです。
（計算式）
$$\text{総合収益額} = \text{売買損益} + \text{利息・配当金収入} + \text{未収収益増減（当期末未収収益－前期末未収収益）} \\ + \text{評価損益増減（当期末評価損益－前期末評価損益）}$$
- ベンチマーク
運用成果を評価する際に、相対比較の対象となる基準指標のことをいい、市場の動きを代表する指数を使用しています。

組合で採用している各運用資産のベンチマークは以下のとおりです。

- ・ 国内債券

NOMURA-BPI 総合

野村證券株式会社が作成・発表している国内債券市場の代表的なベンチマークです。

※ NOMURA - BPI 総合（以下「対象インデックス」という。）は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は同社に帰属します。

なお、同社は、対象インデックスを用いて行われる当組合の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

- ・ 国内株式

TOPIX（配当込み）

東京証券取引所が作成・発表している国内株式の代表的なベンチマークです。東証第一部の基準時の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。

※ TOPIX配当指数の指数値の標章は、東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、指数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利及びTOPIX配当指数等の標章に関するすべての権利は東京証券取引所が有します。

- ・ 外国債券

FTSE世界国債インデックス（除く日本、中国、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCが作成・公表している、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスで、国際債券投資の代表的なベンチマークです。

※ このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

- ・ 外国株式

MSCI ACWI（除く日本、円ベース、配当込み）

MSCI Inc. が作成する日本を除く先進国及び新興国で構成された株式のベンチマークです。

- ベンチマーク収益率

ベンチマークの騰落率で、いわゆる市場平均収益率のことです。